



# 小学校英語シンポジウム @名女大 2022

参加費  
無料  
定員70名

研究から見えてきた小学生の言語知識と技能の実態を授業につなぐ

日時 2022年 5月21日(土) 13:00 ~ 16:30 (12:30 受付開始)

会場 名古屋女子大学 南4号館 105教室

地下鉄桜通線「瑞穂区役所」徒歩3分

対象 小学校英語教育に関心のある大学教員、小中学校教員、  
教員志望の学生 他



## プログラム

- 13:00 ~ 13:05 主催者挨拶：江口 朗子
- 13:05 ~ 13:10 開催校挨拶：杉本 定 (越原学園 法人本部 参事)
- 13:10 ~ 13:30 趣旨説明：犬塚 章夫 (愛知教育大学 教授)
- 13:30 ~ 14:50 研究発表

池田 周 (愛知県立大学 教授)

▶ 英語の音韻認識に対する母語の影響の調査結果を、初期読み指導に生かす (40分)

江口 朗子 (名古屋女子大学短期大学部 教授)

▶ 即興的なやり取りのパフォーマンス評価結果を、話すことの指導に生かす (40分)

休憩10分(質問・コメントシート回収)

- 15:00 ~ 15:45 小学校での授業実践紹介  
恒川美砂子 (刈谷市立双葉小学校)  
細川 早苗 (稲沢市立下津小学校)  
藤井 真弓 (名古屋市立扇台中学校)

- 15:45 ~ 16:25 パネルディスカッション  
コーディネーター：犬塚 章夫  
パネリスト：池田 周、江口 朗子、恒川美砂子、  
細川 早苗、藤井 真弓

- 16:25 ~ 16:30 主催者挨拶

## 発表者からのメッセージ

英語の読み書き発達には、英語の音声言語をさまざまな区切りで認識できることが必要です。日本語を母語とする小学生には、語を構成する音を区切るときに、その影響が現れます。それらを具体的に指導に生かすにはどうすればよいのかご提案します。(池田)

小学生約150名が転校生のマイケルとPC画面越しに英語で話すタスクに取り組みました。小学生は即興でどんなことが話せるのか、6年生は5年生よりも話せるのか、文産出はどんなプロセスで発達するかなど、結果から見えてきたことを、これからの授業に生かす方法をみなさんと考えたいと思います。(江口)



お申込  
問合せ方法

下記の URL、または QR コードより  
フォームに必要事項を入力して送信 **5/19 締切**  
<https://onl.bz/1T2zz8e>



\*本シンポジウムは、日本学術振興会 基盤研究 (C) 課題番号 19K00811 (代表：江口朗子) の助成を受けて行われます。